

令和4年度全国児童自立支援施設職員研修実施要綱

1. 目的 児童自立支援事業に対する認識を深め、職員としての専門的知識を習得し、職務遂行能力および自己啓発意欲を高めることを目的とする。
2. 主催 厚生労働省子ども家庭局
3. 運営 国立武蔵野学院附属人材育成センター
4. 場所 国立武蔵野学院、または国立きぬ川学院、オンライン
5. テーマ・日程・申込〆切
(各研修の概要は次頁以降の各研修概要のとおり)

研修種別・テーマ	期 間	募集人数	〆切
新任施設長研修 [前期：武蔵野学院（オンライン）] (法) ※前後期とも必修 [後期：武蔵野学院（集合研修）]	令和4年5月17日～5月19日 令和4年9月6日～9月8日	25名	4/8 (金) 必着
スーパーバイザー研修 [武蔵野学院] 「ケースマネジメントとスーパーバイズ」	令和4年8月23日～8月26日	30名	5/27 (金) 必着
中堅職員研修 コースⅠ [武蔵野学院] 「子どもの発達とアタッチメント」	令和4年12月6日～12月8日	30名	
中堅職員研修 コースⅡ [武蔵野学院] 「児童自立支援施設で暮らす子どもの性問題について」	令和5年1月24日～1月27日	30名	
中堅職員研修 コースⅢ [きぬ川学院] 「性被害の理解と支援」	令和4年12月12日～12月16日	16名	
中堅職員研修短期実習コース 共通科目 [武蔵野学院（オンライン）]	令和4年9月27日	①② 全員	
①実習第1グループ [武蔵野学院（集合研修）]	令和4年10月25日～10月27日	8名	
②実習第2グループ [きぬ川学院（集合研修）]	令和4年10月11日～10月13日	6名	4/15 (金) 必着
新任職員研修 [前期：武蔵野学院（オンライン）] ※前後期とも必修 [後期：武蔵野学院（集合研修）]	令和4年5月31日～6月2日 令和4年10月4日～10月6日	30名	
新任職員研修短期実習コース 共通科目 [武蔵野学院（オンライン）]	令和4年6月1日	①～⑤ 全員	
①実習第1グループ [武蔵野学院（集合研修）]	令和4年6月14日～6月16日	各回	
②実習第2グループ [武蔵野学院（集合研修）]	令和4年6月28日～6月30日	8名	
③実習第3グループ [武蔵野学院（集合研修）]	令和4年7月12日～7月14日	各回	
④実習第4グループ [きぬ川学院（集合研修）]	令和4年6月7日～6月9日	各回	
⑤実習第5グループ [きぬ川学院（集合研修）]	令和4年6月21日～6月23日	6名	

6. 参加申し込み方法

- (1) 申込：申込書に必要事項を記入し、公印を押印のうえ、下記申込先に封書にて送付
- (2) 〆切：上記表に記載（必着のこと）

※申込数が募集人数を超えた場合は参加できないことがあります。その場合は、事務局からご連絡いたします。

※参加決定通知及び詳細な要綱については、参加所属長宛に概ね研修1ヶ月前に送付します。

7. その他

諸般の事情により、日程及び内容に変更が生じる場合がありますことをご了承ください。

<事務局（申込先）>

国立武蔵野学院附属人材育成センター 研修課
〒336-0963 さいたま市緑区大字大門 1030 番地
TEL 048-878-1260（音声案内2番）
FAX 048-878-1244
E-mail jinzaikusei@mhlw.go.jp

全国児童自立支援施設 新任施設長研修

～本研修は児童福祉施設の設備及び運営に関する基準第81条に定める要件研修～

1. 目的 児童自立支援施設の役割について深く理解し、被措置児童等虐待の防止や人材育成等、社会からのニーズに対応できる施設運営について学ぶ。
2. 対象者 施設長として着任予定の者、又は令和3年4月1日以降に着任した施設長
3. 期間 前期スクーリング 令和4年5月17日（火）～5月19日（木）
OJT 令和4年5月20日（金）～9月5日（月）
後期スクーリング 令和4年9月6日（火）～9月8日（木）
(前後期とも必修)
4. 場所 前期スクーリング オンライン
OJT 各自施設
後期スクーリング 国立武蔵野学院（宿泊研修）
5. 内容 (1) 事前レポート課題
(予定) 前期スクーリング
「施設における子どもの権利擁護の取り組みと課題」
後期スクーリング
「権利擁護の取組について」※OJTの内容を元に作成

(2) 前期講義及び演習
＜児童自立支援施設の歴史及び事業概論、児童精神医学、子どもの権利擁護＞

講義1 「児童自立支援事業概論」
感化院から百年余の歴史を持つ児童自立支援事業の理念と変遷を学ぶと共に、今後の児童自立支援事業の進むべき方向について考える。また第三者評価の実施、養育指針に基づいた施設運営のあり方と課題について考える。

講義2 「子どもの行動理解のための児童精神医学」
児童自立支援施設に入所する子どもの行動等を理解し、支援を行うために必要な児童精神医学を学び、施設における適切な支援の充実を目指す。

講義3 「施設内における権利擁護」
児童自立支援施設における支援の中で、民法・児童福祉法など、法的な根拠を再確認し、子どもの意見表明権について考える。

講義4 「被措置児童等虐待の防止」
子どもの権利擁護の推進や多様化する入所児童への支援等、具体的な課題への対応と施設運営について考える。

講義5 「児童相談所の機能と役割」
児童相談所の機能と役割について、基本的な事項を学ぶ。

演習 「子どもの権利擁護に関する取り組み」
各施設における子どもの権利擁護に関する取り組みについて検討する。

(3) 後期講義及び演習
＜児童の自立を支援するための専門性と施設運営＞

講義1 「施設における養育の質の向上」
施設の健全な運営や養育の質の向上のための職員の育成、教育について、組織マネジメントの観点から考える。

講義 2 「家庭支援とソーシャルワーク」

児童自立支援施設において、入所中に限らず子どもに対し、適切かつ継続的なケアを行うためには、児童相談所等との関係機関と協働し、保護者や家庭への支援を行うことが重要である。親子再構築支援も含め、施設において更なるソーシャルワーク機能の強化を考える。

講義 3 「女子児童の行動上の問題とメンタルヘルス」

国立きぬ川学院において実践している支援をもとに、女子児童に対する理解と適切な支援方法について考える。

講義 4 「施設運営」

子どもの社会的自立に向けて、児童自立支援施設の運営、目的を社会的養育の現場から考察する。

演習 「権利擁護の取組について」

見学 国立武蔵野学院

6. 費用 前期 無料（オンライン研修）
後期 8,000円程度（寝具レンタル料、食費）

7. 申込 令和4年4月8日（金）必着

全国児童自立支援施設 スーパーバイザー研修

1. テーマ 「ケースマネジメントとスーパーバイズ」
2. 目的 子どもの自立支援を展開するために必要なケースマネジメントの手法とスーパーバイズのあり方を学ぶ。
3. 対象者 施設において、スーパーバイザー又は指導的立場にある者
4. 期間 令和4年8月23日（火）～8月26日（金）
5. 場所 国立武蔵野学院（宿泊研修）
6. 内容（予定）
 - （1）事前レポート課題「ケースマネジメントとスーパーバイズ（事例）」
 - （2）講義及び演習
 - 講義1 「児童家庭福祉行政」
最新の法規と施策の動向や、児童福祉行政や児童自立支援施設を含む社会的養護体制の現況を学ぶ。
 - 講義2 「児童自立支援概論」
児童自立支援事業の理念と変遷を学ぶと共に、今後の児童自立支援事業の進むべき方向について考える。
 - 講義3 「ケースマネジメントとスーパーバイズ」
子どもの抱える問題が多様化する中で、子どもにとって必要な支援を展開するためのケースマネジメントについて学ぶ。
 - 講義4 「チームアプローチと人材育成」
施設においてより良い支援を行うために職員が連携し、子ども一人ひとりの特性に合わせた組織的、包括的な支援と、人材育成について学ぶ。
 - 講義5 「施設におけるスーパーバイズ」
施設におけるスーパーバイズのあり方を学ぶ。
 - 講義6 「親子関係再構築支援の事例報告」
家族支援において、事例を交えながら実践を学び理解を深める。
 - 講義7 「被措置児童等虐待の防止」
児童自立支援施設における理念や権利擁護、支援のあり方などについて学ぶ。
 - 講義8 「児童相談所の機能と役割」
児童相談所の機能と役割について、基本的な事項を学ぶ。
 - 演習 「ケースマネジメントとスーパーバイズ」
各施設における対応の状況や課題等について検討し、理解を深める。
 - 見学 国立武蔵野学院
7. 費用 11,000円程度（寝具レンタル料、食費）
8. 申込 令和4年5月27日（金）必着

全国児童自立支援施設 中堅職員研修コースⅠ

1. テーマ 「子どもの発達とアタッチメント」
 2. 目的 発達に課題を抱える子どもについて理解し、複雑な養育環境のもとで過ごしてきた子どものアタッチメント形成について学ぶ。
 3. 対象者 児童自立支援施設での勤務経験が原則2年以上のケアワーカー・心理職員・教員など
 4. 期間 令和4年12月6日（火）～12月8日（木）
 5. 場所 国立武蔵野学院（宿泊研修）
 6. 内容（1）事前レポート課題「発達に課題を抱える子どもに対する支援」（予定）
（2）講義及び演習
 - 講義1 「児童家庭福祉行政」
最新の法規と施策の動向や、児童福祉行政や児童自立支援施設を含む社会的養護体制の現況を学ぶ。
 - 講義2 「被措置児童等虐待の防止」
児童自立支援施設における理念や権利擁護、支援のあり方などについて学ぶ。
 - 講義3 「社会的養護とアタッチメント（愛着理論の応用）」
複雑な養育環境で過ごしてきた子どものアタッチメント形成について、理解と対応について学ぶ。
 - 講義4 「子どもの発達とアタッチメント」
子どもの発達にとって、アタッチメント形成の重要性について学ぶ。
 - 講義5 「虐待が子どもに与える影響」
虐待が子どもの身体的・心理的な発達にどのような影響を及ぼし、発達障害との関係やPTSD（心的外傷後ストレス障害）について学ぶ。
 - 講義6 「子どもの行動上の問題への理解と対応」
子どもの行動上の問題を理解し、具体的な対応方法について学ぶ。
 - 講義7 「児童相談所の機能と役割」
児童相談所の機能と役割について、基本的な事項を学ぶ。
 - 演習1・2 事例検討「対応困難事例についての検討」
 - 見学 国立武蔵野学院
6. 費用 8,000円程度（寝具レンタル料、食費）
 7. 申込 令和4年5月27日（金）必着

全国児童自立支援施設 中堅職員研修コースⅡ

1. テーマ 「児童自立支援施設で暮らす子どもたちの性問題について～性教育の必要性和実践～」
 2. 目的 児童自立支援施設に入所する子どもたちの性問題は増加しており、施設内及び地域で発生する性加害・性被害を受けた子どもたちに必要かつ適切な性教育のあり方について学ぶ。
 3. 対象者 児童自立支援施設での勤務経験が2年以上のケアワーカー・心理職員・教員など
 4. 期間 令和5年1月24日（火）～1月27日（金）
 5. 場所 国立武蔵野学院（宿泊研修）
 6. 内容（1）事前レポート課題「性問題を抱える子どもの事例」（予定）
（2）講義及び演習
 - 講義1 「児童家庭福祉行政」
最新の法規と施策の動向や、児童福祉行政や児童自立支援施設を含む社会的養護体制の現況を学ぶ。
 - 講義2 「性加害児童への理解と対応、アセスメント」
性加害児童への理解と対応について、施設での実践を踏まえ、その予防も含めて具体的な方法を考える。
 - 講義3 「性的な被害を受けた子どもの理解と支援」
性的な被害を受けた子どもへの理解とその家族支援などについて学ぶ。
 - 講義4 「施設における効果的な性教育」
施設の中で行われる性教育について、効果的な技法等を学ぶ。
 - 講義5 「性的マイノリティーの理解と支援」
性的マイノリティーについて、正しく理解し、施設内における対応について考える。
 - 講義6 「被措置児童等虐待の防止」
児童自立支援施設における理念や権利擁護、支援のあり方などについて学ぶ。
 - 講義7 「児童相談所の機能と役割」
児童相談所の機能と役割について、基本的な事項を学ぶ。
 - 演習1・2 「事例検討」
参加者から事例を提出してもらい、支援のあり方などについて検討する
 - 見学 国立武蔵野学院
6. 費用 11,000円程度（寝具レンタル料、食費）
 7. 申込 令和4年5月27日（金）必着

全国児童自立支援施設 中堅職員研修コースⅢ

1. テーマ 「性被害の理解と支援」
2. 目的 性被害を受けた児童への支援を学ぶとともに、実際に施設現場において直面している事例への対応について検討し、児童自立支援施設における性被害を受けた児童への適切な支援について考える。
3. 対象者 児童自立支援施設での勤務経験が原則2年以上のケアワーカー・心理職員・教員など
4. 期間 令和4年12月12日（月）～12月16日（金）
5. 場所 国立きぬ川学院（宿泊研修）
6. 内容（1）事前レポート課題「事例検討～性被害を受けた児童への対応～」
（予定）
（2）講義及び演習
講義1 「国立きぬ川学院概況説明」

講義2 「被措置児童等虐待の防止」
子どもの権利擁護の推進や多様化する入所児童への支援等、具体的な課題への対応と施設運営について考える。

講義3 「児童家庭福祉行政」
最新の法規と施策の動向や、児童福祉行政や児童自立支援施設を含む社会的養護体制の現況を学ぶ。

講義4 「性被害を受けた子どもの理解と生活支援」

講義5・演習1 「性被害を受けた子どもと支援者のための心理教育」

講義6・演習2 「事実確認面接～生活内で子どもから性被害の開示があったときの対応～」

講義7 「児童相談所の機能と役割」
児童相談所の機能と役割について、基本的な事項を学ぶ。

演習3 「距離感のワーク」

演習4 事例検討「性被害を受けた児童への対応」

実習「寮舎実習」
寮舎実習を通じて子どもの理解と対応の実際について学ぶ。

見学 国立きぬ川学院
7. 費用 12,000円程度（寝具レンタル料、食費）
8. 申込 令和4年5月27日（金）必着

全国児童自立支援施設 中堅職員研修短期実習コース

1. 目的 国立児童自立支援施設における実習を通して、支援技術や子どもの理解等についてスキルアップを図る。
2. 対象者 児童自立支援施設での勤務経験が原則2年以上のケアワーカー・心理職員・教員など。
3. 期間 共通科目講義（オンライン） 令和4年9月27日（火）
1グループ（国立武蔵野学院）令和4年10月25日（火）～10月27日（木）
2グループ（国立きぬ川学院）令和4年10月11日（火）～10月13日（木）
4. 場所 1グループ・・・国立武蔵野学院（宿泊研修）
2グループ・・・国立きぬ川学院（宿泊研修）
5. 内容（1）事前レポート課題「実習に対する具体的課題」等
（予定）
（2）共通科目講義
講義1 「行政説明～社会的養護の動向～」
社会的養護の現状と将来像について学ぶ。

講義2 「社会的養護におけるアタッチメント（愛着）理論の応用」
複雑な養育環境で過ごしてきた子どものアタッチメント形成について、理解と対応について学ぶ。

講義3 「被措置児童等虐待の防止」
子どもの権利擁護の推進や多様化する入所児童への支援等、具体的な課題への対応と施設運営について学ぶ。

講義4 「児童相談所の機能と役割」
児童相談所の機能と役割について、基本的な事項を学ぶ。

＜1グループ＞ 国立武蔵野学院
講義1 「国立武蔵野学院概要」

講義2 「施設内における学校教育」
国立武蔵野学院における学校教育のあり方と、施設と学校の連携について学ぶ。

実習 「寮舎実習」
寮舎実習を通じて子どもの理解と対応の実際について学ぶ。

見学 国立武蔵野学院

＜2グループ＞ 国立きぬ川学院
講義1 「国立きぬ川学院概要」

講義2 「性被害を受けた子どもの理解と生活支援」

演習1 「距離感のワーク」

演習2 「グループ討議」

実習 「寮舎実習」
寮舎実習を通じて子どもの理解と対応の実際について学ぶ。

見学 国立きぬ川学院

6. 費用	1グループ（国立武蔵野学院）	8, 000円程度（寝具レンタル料、食費）
	2グループ（国立きぬ川学院）	8, 000円程度（寝具レンタル料、食費）

7. 申込 令和4年5月27日（金）必着

全国児童自立支援施設 新任職員研修

1. 目的 新任職員として、児童自立支援施設における基本的な知識と技術を学ぶ。
2. 対象者 児童自立支援施設での勤務経験が原則2年未満の者
3. 期間 前期スクーリング 令和4年 5月31日(火)～ 6月2日(木)
OJT 令和4年 6月 3日(金)～10月3日(月)
後期スクーリング 令和4年10月 4日(火)～10月6日(木)
※前後期とも必修
4. 場所 前期スクーリング オンライン
OJT 各自施設
後期スクーリング 国立武蔵野学院(宿泊研修)
5. 内容 (1) 事前レポート課題
(予定) 前期スクーリング
「対応が困難な場面(エピソード)」
後期スクーリング事前レポート課題
前期スクーリング中に決定します。

(2) 前期講義及び演習
講義1 「児童自立支援概論」
感化院から百年余の歴史を持つ児童自立支援事業の理念と変遷を学ぶとともに、今後の児童自立支援事業の進むべき方向について学ぶ。

講義2 「安全・安心な生活の保障」
子どもの権利擁護を理解し、子どもにとって安全で安心できる生活の保障について学ぶ。

講義3 「養育者としての役割」
社会的養護のもとで生活する子どもの養育者として、その役割や責任について考える。

講義4 「国立武蔵野学院における寮舎運営」
国立武蔵野学院における寮舎運営について学ぶ。

講義5 「児童相談所の機能と役割」
児童相談所の機能と役割について、基本的な事項を学ぶ。

演習 「グループ討議」
事前レポートをもとに、対応が困難な場面における養育のあり方について考える。

(3) 後期講義及び演習
講義1 「被措置児童等虐待の防止」
児童自立支援施設における理念や権利擁護、支援のあり方などについて学ぶ。

講義2 「子どもの生き立ちとアセスメント」
子どもを支援するために必要な見立て(アセスメント)の方法について学ぶ。

講義3 「非行のメカニズムと自立に向けた支援」
子どもの行動上の問題への理解と対応、愛着とアタッチメントの形成について学ぶ。

講義 4 「児童自立支援施設職員として～交替制と夫婦制～」
児童自立支援施設における交替制と夫婦制の違いについて学ぶ。

演習 「グループ討議」
事前レポートをもとにしたグループ討議。

見学 国立武蔵野学院

6. 費用 前期 無料
後期 8,000円程度（寝具レンタル料、食費）

7. 申込 令和4年4月15日（金）必着

全国児童自立支援施設 新任職員研修短期実習コース

1. 目的 国立児童自立支援施設における実習を通して、基本的な支援の方法を学ぶ。
2. 対象者 児童自立支援施設で勤務経験が2年未満の者
3. 期間 共通科目講義 令和4年6月 1日（水）
1グループ 令和4年6月14日（火）～ 6月16日（木）
2グループ 令和4年6月28日（火）～ 6月30日（木）
3グループ 令和4年7月12日（火）～ 7月14日（木）
4グループ 令和4年6月 7日（火）～ 6月 9日（木）
5グループ 令和4年6月21日（火）～ 6月23日（木）
4. 場 所 共通科目講義・・・・・・オンライン
1・2・3グループ・・・・国立武蔵野学院
4・5グループ・・・・国立きぬ川学院
5. 内 容（予定）
 - (1) 事前レポート課題「新任職員として困難に感じていること」
 - (2) 共通科目講義
講義1 「児童自立支援概論」
感化院から百年余の歴史を持つ児童自立支援事業の理念と変遷を学ぶと共に、今後の自立支援事業の進むべき方向について考える。

講義2 「児童相談所の機能と役割」
児童相談所の機能と役割について、基本的な事項を学ぶ。

講義3 「非行のメカニズムと自立に向けた支援」
子どもの行動上の問題への理解と対応、愛着とアタッチメントの形成について学ぶ。

講義4 「被措置児童等虐待の防止」
子どもの権利擁護の推進や多様化する入所児童への支援等、具体的な課題への対応と施設運営について考える。
 - (3) 第1～3グループ実習（国立武蔵野学院）
講義1 「国立武蔵野学院概要」

講義2 「施設内における学校教育」

寮舎実習 「実習を通して支援の実際を学ぶ」

演 習 「振り返りとまとめ」
 - (4) 第4～5グループ（国立きぬ川学院）
講義1 「国立きぬ川学院の概要」

講義2 「リービングケア」

寮舎実習 「実習を通して女子の支援を学ぶ」

演 習 「振り返りとまとめ」

見学 1・2・3グループ 国立武蔵野学院

6. 費用 1・2・3グループ 8,000円程度（寝具レンタル料、食費）
 4・5グループ 8,000円程度（寝具レンタル料、食費）
7. 申込 令和4年4月15日（金）必着

令和4年度 全国児童自立支援施設職員研修申込書

研修名	
期間	
場所	国立武蔵野学院・国立きぬ川学院・オンライン（当てはまる方に○をつけて下さい）
備考	食物アレルギー（無 ・ 有： ） 有の場合は品名を記入して下さい
施設名	
申込担当	担当者名： メールアドレス：
(ふりがな) 参加者名	性別（ ） 年齢（ ） メールアドレス：
職名	
職歴 (できるだけ 詳細に)	児童自立支援施設勤務歴【通算】 年 月 日
以上のとおり、令和４年度全国児童自立支援施設職員研修に申し込みます 年 月 日 施設長名 印 国立武蔵野学院附属人材育成センター長 宛	

※申込時に得た情報は、研修業務（研修会要項の名簿掲載、講師及び見学先への名簿提供を含む）以外の目的で利用しません。